

1. 授業の概要(ねらい)

自閉スペクトラム症に代表される人との関係に課題を抱えている思春期の子どもたちに対して、友だち作りのソーシャルスキルを提供するエビデンスに基づいたプログラムとして、PEERSがある。本授業では、このPEERSプログラムに関する文献「友だち作りのSST」の購読を通して、思春期の発達障害の子どもに対する友だち作りのソーシャルスキルを提供するための支援方法を学ぶ。ロールプレイや行動リハーサルを通して、人とのコミュニケーションがいかにダイナミックで複雑なプロセスであり、それをいかに細分化して子どもたちを支援していくかということについての学びを深める。

本授業は、文献を購読し、また担当回について模擬的にプログラムを実施することにより、グループの運営についても体験的に理解していくことを目指す。

2. 授業の到達目標

1. 友だち作りを目的としたソーシャルスキルトレーニングを体系的に理解する
2. PEERSプログラムの各回の内容を理解し、支援方法の概要を簡単に説明できる
3. PEERSプログラムの各回をグループで担当し、プログラムを運営できる

3. 成績評価の方法および基準

出席10%、授業中のディスカッションへの参加30%、担当回のプレゼンテーション40%、最終レポート20%

4. 教科書・参考文献

教科書

エリザベス・A・ローガソン、フレッド・フランクル著／山田智子、大井学、三浦優生監訳 『友だち作りのSST』 金剛出版

5. 準備学修の内容

毎回の授業前に、教科書の該当する章を読んで、各回のポイントを小レポートにまとめてください。

6. その他履修上の注意事項

初回授業に教科書を持参してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | 自閉スペクトラム症のソーシャルスキルトレーニングとは |
| 【第2回】 | 導入と会話のスキルⅠ—情報交換 |
| 【第3回】 | 会話のスキルⅡ—双方向会話 |
| 【第4回】 | 会話のスキルⅢ—電子コミュニケーション |
| 【第5回】 | 自分に合った友達を選ぶ |
| 【第6回】 | ユーモアの適切な使い方 |
| 【第7回】 | 会話に入る |
| 【第8回】 | 一緒に遊ぶ |
| 【第9回】 | 仲間に入るⅡ—会話から抜ける |
| 【第10回】 | スポーツマンシップ |
| 【第11回】 | 拒否Ⅰ—からかい言葉・とまどい言葉への対応 |
| 【第12回】 | 拒否Ⅱ—いじめや悪い評判への対応 |
| 【第13回】 | 思いのすれ違いへの対応の仕方 |
| 【第14回】 | うわさやデマへの対応方法 |
| 【第15回】 | プログラムの終了と卒業 |